



大村市立福重小学校 学校だより

令和3年11月12日(金)

あさひ

文責：校長 田中 康隆

目指す児童像：㊦るさとを愛する子・㊧ふうする子・㊨んせつな子・㊩んきな子

鍛錬遠足に行ってきました

10月29日(金)、野岳湖公園を目指して鍛錬遠足を行いました。コロナ禍で子供たちの体力が落ちていることが懸念されていますが、福重小のほとんどの子供たちは最後まで歩ききりました。

通勤の途中でよくランニングやウォーキングをしておられる方を見かけます。「歩く・走る」ことが健康によいということを皆さんが常識として知っておられ、自分のライフスタイルに合わせて実践されているということでしょう。

本校の目指す児童像「げんきな子」で身に付けさせたい力は、「自らの健康や安全な生活に関する知識・技能」「自らの心身の健康を考え、生活習慣を思考・判断し、実践する力」「自らの心身の成長を喜び、健康・安全に生活しようとする態度」としています。この鍛錬遠足が、子供たち自身が心身を鍛えるきっかけになってくれればと思います。

12月には、持久走大会を予定しています。全校で一丸となって取り組んでいきます。

黄色の帽子について。

気象、土木、河川等、様々な専門の方に来校いただき、大雨時の引き渡し訓練や6年生の学習において協力いただいたり、アドバイスをいただいたりしています。その中で、「黄色の帽子は視認性がよく、雨天時も効果がありますね」という言葉をいただきました。

改めて本校児童の安全を考えたときに、黄色の帽子には3つの利点があります。1つ目は「**緊急事態の集合時、児童の把握がしやすい**」ということです。短い時間で集合し避難をする必要があるとき、子供の姿を確認しやすいというのは非常に助かっています。2つ目は「**車を運転する方から児童の姿を認識しやすい**」ということです。交通量の多い通学路や狭い学校出入口には危険が潜んでいます。そんな中、交通事故から子供を守ることに大いに役立っています。3つ目は「**熱中症対策にもなっている**」ということです。暑い季節は過ぎ去りましたが、福重の子供たちは、普通に帽子をかぶって運動場で遊んでいます。

時々朝からかぶっていない子供がいて、声をかけることもあります。理由は様々ですが、学童に忘れたという声をよく聞きます。家庭でも声をかけていただければと思います。

今後ともご協力をお願いします。

防災ワークショップの様子より



祝 福重小150周年 その4

以下年表で示します。

- 1879年 立福寺郷に分教場を設けた
(間もなく廃止)
- 1886年 福重学区尋常福重小学校と改称
- 1890年 福重尋常小学校となる
- 1891年 郡川の洪水で流失(寿古郷)
- 1893年 新校舎ができるまで、今富郷の民家を改造して仮校舎とした

昔の人たちも水害に負けず学び続けたのですね

詳しいことを知りたい方は、上野さんのHP「福重ホームページ(下記アドレス)」をご覧ください。

<http://fukushige.info/index.html>